

3 歳児

子どもと暮らす



生活

- 食事・排泄・着替えなど、一人でできることも増えてきますが、甘えたい気持ちも強い頃です。できた時には十分に誉めて、やってみようとする気持ちを育てましょう。



不完全ながらも箸を使って食べようとします。持ち始めの頃に正しい持ち方や食器に手を添えることも教えてあげましょう。



ウンチの後はまだ大人に拭いてもらいますが、自分で拭く練習もするようにしましょう。

上手に拭けたかどうか、一緒に確認することも大切です。男の子は、パンツ・ズボンをおろして立ってオシッコができるようになります。



足腰がしっかりし、パンツやズボンが立ってはけるようになります。

洋服の裏表、前後、靴の右左など、間違っている時には大人が直してあげましょう。



- 危険なこと、やってはいけないことが少しずつ分かってきます。どうして危険なのか、やってはいけないのか繰り返し教えていきましょう。

運動

- 歩く・走る・跳ぶ・押す・引っ張る・投げる・転がる・ぶら下がる・またぐ・けるなどの基本的な動作がある程度できるようになってきます。思い切り体を動かす楽しみを覚えて欲しい時期です。

押す → おすもうごっこ
 投げる・ける → ボールあそび
 ぶら下がる → 鉄棒 など

- 自分の力量がわからず、高いところから飛び降りたりして、思わぬ怪我をすることもあるので、気をつけましょう。

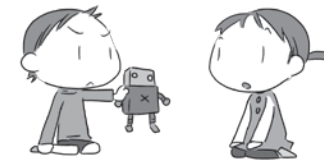


ことば あそび 社会性

- いろいろな事に興味をもち「なぜ」「どうして」といった質問を盛んにするようになります。質問ややりとりをしていくうちに、言葉による表現がますます豊かになってくるので、丁寧に応えていきましょう。

- 自分のことを「わたし」「ぼく」と言うようになり、自分・家族・友達などの関係が分かり始めます。
- 身近な大人の動作や日常の経験を繰り返し再現して遊ぶ姿が見られます。(お母さんの真似っこなど)
- まだまだ一人遊びが中心ですが、反面友達と遊びたい頃でもあります。

一緒に遊ぶ中で、おもちゃの取り合いからケンカになる時もありますが、友達と分け合ったり、順番に使ったりするなど決まりを守ることを少しずつ覚え始めます。



- 楽しかったこと、悲しかったこと、くやしかったことなどの気持ちを身近な大人に受け止めてもらえると、子どもは安心して遊べます。
- 甘えたい気持ちとわがママの見極めは難しいものです。わがママであれば、話してきかせて少しずつ我慢ができるように、根気よくつき合っていくいきましょう。